



70周年記念事業 重ね捺しスタンプラリー実施中!

70周年記念事業「重ね捺しスタンプラリー」を実施しています!

「信州・御代田龍神まつり」「浅間国際フォトフェスティバル」では多くの方にスタンプラリーを楽しんでいただきました。

次の対象イベントは9月6日(日)開催の「消防ふれあいフェスティバルinみよた」(会場:御代田町役場)です。

過去のスタンプを捺すことはできませんが、このイベントからスタンプラリーに参加いただくことも可能ですので、ぜひお越しください。

詳細はホームページをご覧ください。



町ホームページ

問い合わせ先 総務課行政係 (32) 3111

誰もが自分らしく生きられる社会へ

「長野県パートナーシップ届出制度」をご存知ですか?

近年、「性的マイノリティ」など多様な性自認や性的指向を表す言葉が一般社会に広く定着してきましたが、性的マイノリティの方々が生きづらさを感じたり、困りごとを抱えたりすることはまだ多くあります。

※性的マイノリティ…生物学的な性(からだの性)と性の自己意識(こころの性)が一致しない人、性的思考(恋愛・性愛の対象)が同性や両性に向いている人など

パートナーを看病するための休暇が認められなかった。

パートナーから暴力を受けたが、関係について誰にも話していなかったため、暴力についても相談することができなかった。

親から(自分の性的指向とは違う)結婚するように言われ、それが強いプレッシャーとなり引きこもるようになってしまった。

そんな性的マイノリティの方々の生活上の障壁を取り除くことを目指す制度として、「長野県パートナーシップ制度」というものがあります。

- ・双方またはいずれか一方が性的マイノリティであるお二人が、制度の利用を希望する場合に、お互いを人生のパートナーとすることを県に届け出ます。
- ・県は届出を受領したことを証明します。

利用することで

- ・お互いが大切なパートナーであると証明するものを持つことができる
- ・パートナーとともに各種サービスを受けられる場面が増える

※制度の詳細や届出方法については長野県の公式ホームページをご覧ください。

これらの制度を通じて、多様な性のあり方に対しての理解が広がり、だれもが自分らしく輝ける社会をみんなでつくることを目指します。

問い合わせ先 企画財政課企画係 (32) 3112

町では、令和8年熊本地震に対する支援を実施しています

7月28日に発生した令和8年熊本地震により、熊本県内では多くの方が被災され、厳しい生活を余儀なくされています。町では、被災された皆さまに一日も早く日常を取り戻していただけるよう、さまざまな支援を実施しています。

今月号では、現在までに実施した支援内容についてご紹介します。

①災害支援代理寄付の受け付け 7月29日(水)～

ふるさと納税の仕組みを活用し、被災自治体に代わって寄付の受付事務を御代田町が担う「代理寄付」を受け付けています。返礼品はなく、ごく少額の手数料を除いた全額が被災自治体へ届けられます。

当初は「大津町」と「南阿蘇村」に対しての支援を進めていましたが、南阿蘇村が被災自治体の支援にまわる段階となったため、現在は大津町への支援を継続しています。

②物資支援 7月31日(金)～

「活力ある地方を創る首長の会」の枠組みで佐久市、小諸市、軽井沢町、佐久水道企業団、浅麓水道企業団と連携し、飲料水や衛生用品などを熊本県八代市へお届けしました。



③義援金の受け付け 7月31日(金)～

御代田町社会福祉協議会が、町内3カ所(御代田町役場1階会計課前、エコールみよた事務室前、ハートピアみよた玄関前)に募金箱を設置しています。受付期間は9月30日までで、お預かりした義援金は日本赤十字社を通じて被災地へお届けします。



④災害用トイレトラック・給水車の派遣 8月4日(火)～

今年7月にお披露目した災害用トイレトラックを、被災地へ初出動させました。

8月4日(火)に御代田町役場で出発式を行い、御代田町職員2名と佐久水道企業団の職員4名が熊本県八代市でトイレトラックによる避難所のトイレ支援と、給水車による給水支援にあたりました。

職員の派遣が終わったあとも、トイレトラックは八代市内の植柳(うやなぎ)小学校に設置され、引き続き避難所でご利用いただいています。

植柳小学校



町では今後も、積極的な支援を継続していきます!

支援内容の詳細については、町ホームページをご確認ください。



問い合わせ先 総務課情報防災係 (32)3111

町ホームページ